

## 甘楽町（群馬県）へ寄付をさせていただきました。



この度弊社は、甘楽町に多文化共生社会の実現にお役立ていただきたく20万円を寄付をさせていただきました。甘楽町ではここ数年で外国人住民が増加しており、令和2年時点では町の全人口の1.4%が外国人の方となっています。

また、外国人の方に向け日本語講座やゴミ出しや分別のルール講座も積極的に取り組んでおり、多文化共生社会の実現に熱心に取り組まれております。

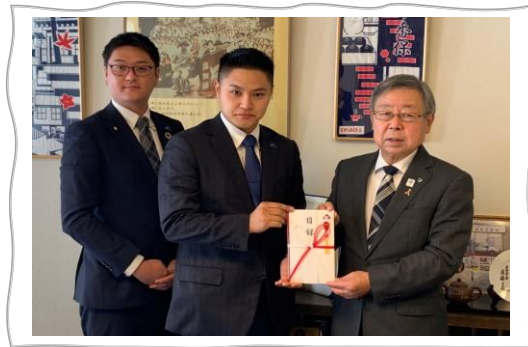
甘楽町には織田宗家の大名庭園「楽山園」や武家屋敷が残されており、当時の街並みや景色を体感できる観光スポットにもなっています。私自身も足を運び当時の人々の歴史触れることができました。今後も多文化共生の実現に向け、一歩ずつ邁進しつづけます。

株式会社 Aizawa Corporation 代表取締役 相沢 正雄

## 渋川市（群馬県）に寄付をさせていただきました。

渋川市は共生社会の実現に向け尽力されている市であり、そのお役に立てればと思い寄付をさせていただきました。渋川市は2年前から共生社会の実現を目標として掲げており、今年9月には車いす利用者や高齢者でも伊香保温泉街の散策が楽しめるよう、バリアフリーマップを作製しています。周辺の観光スポットや、トイレの設備内容や場所の情報、温泉街の特徴である坂道の角度も記載されており、傾斜の上りづらさの目安も記されています。弊社が目指す多文化共生の実現と大きく重なる部分があり、その考えに感銘を受けました。

渋川市の有名な伊香保温泉でも、他人と裸で入浴する文化がない海外の方にも入浴着を着たまま温泉に入ることができるという配慮がされています。



私も贈呈式の後、伊香保温泉まで足を運び、快晴の空の下紅葉を楽しみながら石段を登ってきました。改めて群馬県の魅力に触れることで、未経験の体験や訪れたことのない場所に行きたいと思いました。コロナ禍でなかなか外出できない状況が続いていますが収束したら是非色々なところに足を運んで群馬県の魅力に触れたり、貴重な経験をしてください。

株式会社 Aizawa Corporation 代表取締役 相沢 正雄